

第60期

ZAOH LETTER

2015.4.1 ▶ 2016.3.31



蔵王産業株式会社

証券コード：9986

蔵王産業らしさを追求し、
さらなるお客様の信頼を。
原点に立ち返って、
信頼される商品づくりに全力。



代表取締役会長 土方孝悦



東京証券取引所市場第一部への
指定替え後、新たな1年が経過しました。



記念すべき年でもあり、しっかりした業績を残したいと真剣に臨みました。ところが利益面では増益を維持したものの、売上面では数年ぶりに減収となり不満の残る結果となりました。

減収となった理由は2つあります。1つはコンシューマー向けスチーム洗浄機のモデルチェンジ版の投入がずれたため、もう1つは震災以降続いてきた除染関連の需要が一巡したことによりです。

期の途中からさまざまな対策を取りましたが、当期は売上高 6,833 百万円（前期比 6.1%減）、営業利益 1,029 百万円（同 1.9%増）、経常利益 1,061 百万円（同 3.0%増）、当期純利益 657 百万円（同 13.8%増）となりました。



講習会などで新しい清掃システムの
提案に努めてこられたようですが、
特徴的な動きがありましたか。



当期も地方での比較的小規模なものを含む
とトータルで 100 回以上の講習会を開催しま
した。

実はお客様には販売代理店の呼びかけでお集まりいただくのですが、中にはお付き合いで参加される方もいないわけではありません。ところが講習会の途中から皆さんの目の色が変わってくるのがわかります。

講習会が終わると参加者の2～3割の方から自社でも独自の勉強会を開いてほしいという依頼が多く寄せられます。

高額な機器を導入するには社内の説得と理解が必要ですから、自社内でも勉強会をというわけです。その結果、1度に複数台を導入いただくことも増えてきています。

この背景には、ビルメンテナンス業界などで続く人手不足と人件費の高止まりがあります。“生産性を上げる、利益を出す”といったテーマが業界の共通課題となっているのです。

私どものHPでは、お客様にお勧めしたい「一押し商品」を紹介しています。その1つである「ZK プレミアム」は当期の講習会のメイン商品となりました。プレミアムモードだと通常のアルカリ濃度 pH12.5 に対し pH13.1 の濃縮イオン電解水を毎時4リットル生成するというもので、強力な洗浄力がある上に、ケミカル類は全く使わないため、すすぎ洗いの手間も要りません。従来品に比べると約3割程度の生産性アップにつながるため、大変好評を得ています。

前述した講習会の成果もあり、当期はビルメンテナンス業界のほか、自動車工場、製パン大手、JRなどの鉄道関連に4百台以上が導入されました。

今般、新社長に就任した北林が中心となって代理店との関係強化に力を注ぎ、同行営業を続けた結果、ある自動車関連のグループ企業で年間売上を20%以上も伸ばすことができました。信頼の構築がいかにか大切にあらためて実感できた充実した1年となりました。



**コンシューマー向けに OEM 供給している
オリジナル商品の販売は再浮上するのでしょうか。**



大手量販店などに OEM 供給してきた小型の高圧洗浄機、スチーム洗浄機、真空掃除機などは、当期に限っていうとピーク時の売上と比べると落ち込みました。これはお客様の志向の変化もありますが、私共が外資系メーカーの価格攻勢に対し、安売りで対抗するのではなく、“価格を守る”という姿勢を貫いたことも背景のひとつに挙げられます。

一方で、ある大手量販店では抱えていた在庫掃にも目処がつき、今後は反撃に出ると頼もしい声が上がってきていますので、私どもも今後の連携強化を楽しみにしています。

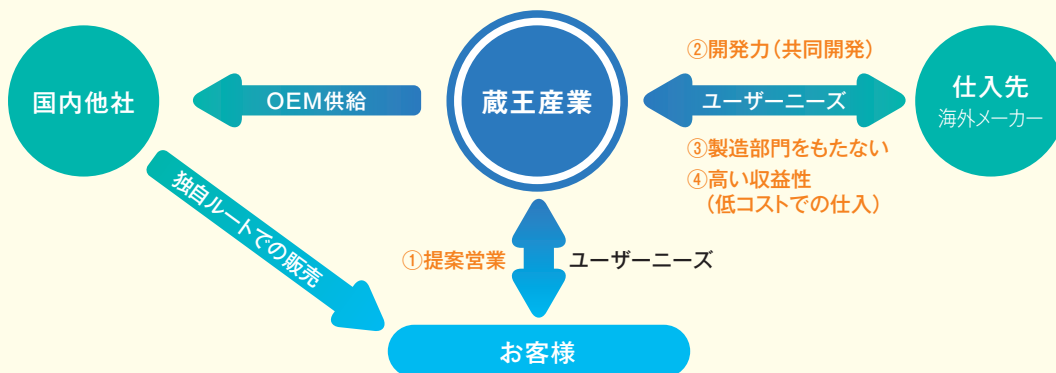


**新商品開発の課題はありますか。
また、今期の有望な商品を教えてください。**



わが国ではさまざまな市場が成熟期を迎えており、市場に衝撃を与えるほどの新しい商品が生まれる機会が少なくなりました。メーカー側も売れると確信できる商品をなかなか作れなく

蔵王産業のビジネスモデルと強み



なっています。

商社である当社は、現場での提案営業により常に現場のニーズの掘り起しが出来る事が強みです。たとえば、海外メーカーに対しても、この商品をどのように改良すれば、売れる商品になるという的確なアドバイスができると自負しています。

すでに複数のメーカーとの間で独自の開発、商品づくりを進めています。ある海外メーカーと開発した真空掃除機は、デザインはイタリア、製造は中国で行いました。「このスペックでこのデザインなら売れる」と提案先のお客様にも自信をもっていただけました。市場規模や競合先との関係が分かれば、かなりの確かな提案ができる実績を残してきています。

いま、当社では、原点に返って商品づくりを見直しています。この数年、外資系の価格攻勢に対抗するため、私どもも一部“価格ありき”で対抗したところもあり、お客様からも機能などで信頼の持てる商品づくりを進めてほしいというあたたかくかつ厳しいお声を頂戴しています。

現在、新しいコンセプトで主要モデルの見直しを進めており、今期中に高压洗浄機を皮切りに主要モデル

の入替えを進めていく予定です。



**社団法人を活用し、
これまで得たノウハウを
社会的な課題解決につなげていく
という展開も始まっていますが。**



今年4月にビルメンテナンスの世界大会が、東京で開催され、21カ国から約700名が参加、3日間で延べ14,000人がこのイベントに会場しました。

当社はタイルカーペットの洗浄に革命を起こす「パイルリセッター」を提供し、タイルカーペットを洗浄する実演を行いました。

タイルカーペットだから可能な“丸洗い”で汚れを根こそぎ洗浄することで、欧米の参加者からも大きな反響を頂きました。

靴のままカーペットの上を歩く欧米では、靴に付いた砂などがカーペットにもぐりこみ、カーペットの毛が砂で擦り切れるため、6年から7年周期で張替えることが一般的といわれています。

トピックス 各種展示会に出展いたしました



当社は、幅広いお客様に常に最新の商品・清掃システムを提案することにより、お客様とのつながりを大切にしながら、全国での大規模な展示会を通じて信頼関係の向上にも努めております。

ところが「パイルリセッター」を使用して洗浄すると、カーペットが新品同様に生まれ変わり、寿命が大きく伸びるのです。張替時に発生していたカーペットの廃棄費用ももちろん不要になり、環境負荷の低減にもつながります。

現在、「パイルリセッター」という商品名で本格的な普及を図ろうと社団法人の設立準備がなされています。

また、先ほど、アルカリイオン水を使った洗浄のお話をしましたが、水で床を洗うとすすぎ洗いが必要なくなり、薬剤で洗うのに比べ水を大幅に削減できます。

加えて、水洗浄で排出するワックス廃液をリサイクルすることが、可能になります。

私どもの調査では従来品に比べ、CO₂の排出量は大きく削減できたことが分かりました。

そのため、一般社団法人「床ワックスをリサイクルする会」でも注目されています。

このように作業効率に加え、作業品質も劇的に向上させる、これらの取り組みを当社としても今後も積極的に応援していきます。



**あらためて株主・投資家の皆様に
今後に向けた抱負をお聞かせください。**



東京証券取引所市場第一部への指定替えで大きく変わったのは従業員の家族の理解が深まったことです。それによって従業員のモチベーションも一段と高まっています。

私どもは、これまでご支援をいただいた株主様に報いるため、さらに精進を続けてまいります。

2020年の東京オリンピック開催も決まり、わが国は海外からのお客様も大きく増えています。日本を訪れた皆様が口々にされるのは、この国はどこに行っても清潔だということです。環境クリーニング機器の第一人者として、当社はこの日本の価値を将来にわたって維持・継承できるよう、これからも工場、ビルをはじめ、ホテルや旅館など様々な施設の清掃に関わる問題解決に積極的に携わっていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス 船橋営業所及び配送センターの建替

千葉県船橋市において、昨年9月より、船橋営業所及び配送センターの建替工事を実施しております。今年8月竣工を予定しておりますが、営業所、配送センターともに大幅な増床となり、講習会や機器のテストスペース、保管スペースの拡大や入出荷作業の効率アップ等が期待されることから、今後の当社の業績にも寄与するものと考えております。



営業の概況

当社の主要顧客である製造業においては、環境負荷低減への対策商品として、前期から引き続き強アルカリイオン電解水生成機「ZKプレミアム」への需要が着実に高まっており、その相乗効果で床洗浄機や高圧洗浄機等の販売が増加しております。

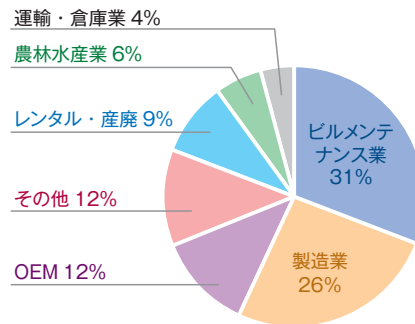
一方、ビルメンテナンス業界においては、全国各地での展示会や代理店のユーザー向け講習会等を通じて、「ZKプレミアム」、超高速振動自動床洗浄機「マイクロマグ600」、またあらたに「アルティメットブラシ」等を利用した多様なメンテナンスの提案を積極的に行った結果、当該商品の販売が堅調に推移いたしました。

また、OEM供給によるオリジナル商品（独占販売権付卸売販売）の提案については、インターネット、ホームセンター等、コンシューマー市場での新たな販路拡大を図るため、小型スチーム機器のほか、真空掃除機等のアイテムを加えながら、市場シェアの確保に努めてまいりました。

アフターサービスについては、定期点検のほか、作業時間の短縮等迅速な対応に注力することで、工賃及びパーツの合計売上が堅調に推移いたしました。

なお、子会社であるエタニ産業株式会社については、プール向け水質浄化剤等が堅調に推移し、増収となりました。

● 販売市場別売上高構成比



その他部門
39.1%

その他部門 売上高 2,673 百万円

その他部門は、清掃・洗浄機器用消耗品及びアクセサリー、メンテナンスサービスの他、子会社エタニ産業で取扱っているスポーツ施設用の水質浄化剤等の各種化成品が含まれています。当期は、子会社であるエタニ産業株式会社の売上高が増収となったことやアフターサービスの工賃・パーツ等の販売も堅調に推移したこと等から、当部門の売上高は2,673百万円となりました。

● 超極細SUSワイヤー 「アルティメットブラシ」

従来のブラシやバットでは届かなかったカーペットパイル繊維の奥に絡まった汚れや、セラミックタイルなどのポーラス（多孔質床材）に詰まった汚れも取除くことができ、好評を得ています。



● 強アルカリイオン電解水生成機 「ZKプレミアム」

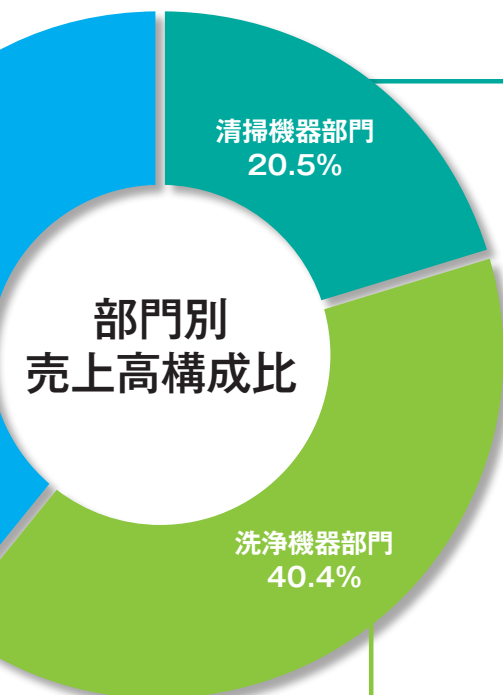
従来からの強アルカリイオン水の生成に加え、通常のアルカリ濃度pH12.5に対しpH13.1の濃縮イオン電解水を生成することが可能となりました。濃度の違いは洗浄力となって現れ、ノンケミカルの洗浄へ欠かせない商品の一つとなっております。



● プール清浄剤 「アクアビル」

陽イオン高分子凝集剤が水中の微粒子を凝集することで清掃フィルターにかかりやすい状態にし、水の透明度を高めます。





清掃機器部門 売上高 1,401 百万円

清掃機器部門の主要商品である床清掃機は、手押式から自走式に分かれ、自走式のうち搭乗式は大型から小型までを取り揃え、幅広いラインナップとなっています。この床清掃機以外にも真空掃除機等を取り揃えております。

当期は、除染作業用として主にレンタル会社向けの搭乗式大型清掃機や大型真空吸引回収機の需要が一巡したこと等から、当部門の売上高は1,401百万円となりました。

● 搭乗式大型動力清掃機 「AM9D-Ⅲ」

これまでゴルフ場、大型テーマパーク、建設現場等、広大な敷地での清掃に威力を発揮してきました。



● 産業用 真空掃除機 「バックマン デルフィンD12-Ⅱ」

大面積カートリッジフィルターを搭載したことで目詰りしにくくなり、長時間使用する製造業の現場などで好評を得ております。



洗淨機器部門 売上高 2,758 百万円

洗淨機器部門の商品は、高圧洗浄機、スチーム洗浄機、床洗浄機、カーペット洗浄機等を取り揃えています。

当期は、ビルメンテナンス業者向けに超高速振動自動床洗浄機「マイクロマグ600」や「アルティメットブラシ」等を活用した関連商品であるカーペット洗浄機の販売が堅調に推移しましたが、コンシューマー向けの小型スチーム機器のモデルチェンジ版の投入が次期にずれ込んだこと等から、当部門の売上高は2,758百万円となりました。

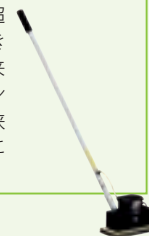
● バッテリー駆動自走式超高速振動自動床洗浄機 「マイクロマグ 600」

強力モーターの超高速振動により均一でムラのない研削を実現し、自動洗浄機能を付加したことで、作業スピードの向上にもつながり、現場から大変好評を得ています。



● 超小型 振動ポリッシャー 「ナノエッジ」

軽量コンパクトながら超高速回転で短時間で驚きの洗浄効果を発揮。従来の床洗浄機やポリッシャーでは作業しにくい狭い場所での洗浄を可能にしました。



財務諸表

● 連結貸借対照表

区分	単位：百万円	
	当期(第60期)	前期(第59期)
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
金額	金額	金額
資産の部		
流動資産	7,706	7,694
固定資産	4,695	4,619
有形固定資産	4,380	4,209
無形固定資産	15	10
投資その他の資産	300	399
資産合計	12,402	12,314
負債の部		
流動負債	853	1,152
固定負債	938	901
負債合計	1,791	2,054
純資産の部		
株主資本	12,792	12,454
その他の包括利益累計額	△ 2,181	△ 2,194
純資産合計	10,610	10,259
負債・純資産合計	12,402	12,314

● 連結株主資本等変動計算書

	単位：百万円							
	当期(第60期) 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日					前期(第59期) 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計
平成27年4月1日残高	2,077	2,402	7,975	△1	12,454	△10	△2,184	△2,194
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△319		△319			
親会社株主に帰属する当期純利益			657		657			
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						3	9	13
連結会計年度中の変動額合計	—	—	337	—	337	3	9	13
平成28年3月31日残高	2,077	2,402	8,313	△1	12,792	△6	△2,174	△2,181

● 連結損益計算書

区分	単位：百万円	
	当期(第60期)	前期(第59期)
	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
金額	金額	金額
売上高	6,833	7,276
売上原価	3,385	3,764
売上総利益	3,447	3,511
販売費及び一般管理費	2,417	2,500
営業利益	1,029	1,010
営業外収益	32	41
営業外費用	0	21
経常利益	1,061	1,030
特別利益	0	—
特別損失	—	33
税金等調整前当期純利益	1,061	996
法人税等	404	419
少数株主損益調整前当期純利益	657	577
当期純利益	657	577

● 連結キャッシュ・フロー計算書

区分	単位：百万円	
	当期(第60期)	前期(第59期)
	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	569	730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 249	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 334	256
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 15	1,284
現金及び現金同等物の期首残高	4,849	3,564
現金及び現金同等物の期末残高	4,833	4,849

● 個別貸借対照表

単位：百万円

区分	当期(第60期)	前期(第59期)
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
金額	金額	金額
資産の部		
流動資産	7,526	7,536
固定資産	4,830	4,757
有形固定資産	4,246	4,076
無形固定資産	14	10
投資その他の資産	569	671
資産合計	12,356	12,294
負債の部		
流動負債	790	1,095
固定負債	927	892
負債合計	1,718	1,987
純資産の部		
株主資本	12,819	12,501
資本金	2,077	2,077
資本剰余金	2,402	2,402
利益剰余金	8,341	8,022
自己株式	△ 1	△ 1
評価・換算差額等	△ 2,181	△ 2,194
純資産合計	10,638	10,306
負債・純資産合計	12,356	12,294

● 個別損益計算書

単位：百万円

区分	当期(第60期)	前期(第59期)
	自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日	自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日
金額	金額	金額
売上高	6,552	7,016
売上原価	3,223	3,619
売上総利益	3,328	3,397
販売費及び一般管理費	2,333	2,419
営業利益	994	977
営業外収益	37	45
営業外費用	0	21
経常利益	1,032	1,001
特別利益	0	—
特別損失	—	33
税引前当期純利益	1,032	968
法人税等	394	406
当期純利益	638	561

● 個別株主資本等変動計算書

当期(第60期) 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

単位：百万円

	株主資本									評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計					
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余 金合計				
					別途積立金	繰越利益 剰余金							
平成27年4月1日残高	2,077	2,402	2,402	402	6,542	1,078	8,022	△1	12,501	△10	△2,184	△2,194	10,306
事業年度中の変動額													
剰余金の配当						△319	△319		△319				△319
当期純利益						638	638		638				638
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）										3	9	13	13
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	318	318	－	318	3	9	13	332
平成28年3月31日残高	2,077	2,402	2,402	402	6,542	1,396	8,341	△1	12,819	△6	△2,174	△2,181	10,638

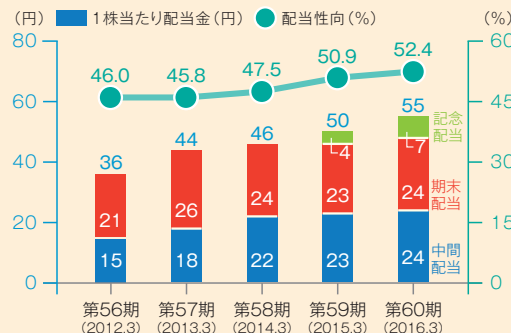
株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益配分と会社の体質強化のための内部留保との調和を図りながら、配当につきましては配当性向重視の方針を維持してまいります。

配当金額の決定につきましては、株主の皆様にも長期的な観点で当社株式を保有していただくため、当社グループの事業展開や財務状況のほか会計基準の変更等特殊要因による業績変動等を総合的に勘案し、今後、毎期の業績に応じて配当性向50%程度を目標としてまいります。

なお、当期の1株当たり配当金につきましては、当期の業績等を勘案し中間配当24円に期末配当24円及び記念配当7円を加え年間配当は55円といたしました。

1株当たり配当金と配当性向



役員人事について

私は、平成28年4月1日より、土方孝悦の後任として、代表取締役社長に就任いたしました。

当業界を取り巻く環境も厳しさを増している中、この職務の重大さを痛感いたしております。

今後につきましては、全社員一致団結して、これまでの持続的成長と今後のさらなる社業の発展、企業価値の向上を図るため、微力ながら専心努力いたす所存でございますので、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 北林恵一



● 会社の概況（平成28年6月24日現在）

社 名 蔵王産業株式会社
本 社 東京都江東区毛利一丁目19番5号
 TEL 03-5600-0311

資 本 金 20億7,776万円

役 員 代表取締役会長 土方孝悦
 代表取締役社長 北林恵一
 専 務 取 締 役 沓澤孝則
 取 締 役 竹村 洋
 取 締 役 御幡純平
 取 締 役 金子勝介
 常 勤 監 査 役 田口 稔
 監 査 役 木澤克之
 監 査 役 牛村 敦

営業品目 動力清掃機、カーペット清掃機、泥層・氷層除去機、
 真空掃除機、自動床洗浄機、カーペット洗浄機、
 カーペット濯ぎ洗い機、高圧洗浄機、スチーム洗浄
 機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用
 消耗品及びアクセサリー、その他

営 業 所 札幌営業所 仙台営業所 宇都宮営業所
 水戸営業所 船橋営業所 川越営業所
 東京営業所 横浜営業所 長野営業所
 新潟営業所 静岡営業所 金沢営業所
 名古屋営業所 京都営業所 大阪営業所
 神戸営業所 岡山営業所 広島営業所
 高松営業所 福岡営業所 鹿児島営業所
 配送センター及び試験研究室

グループ会社 エタニ産業株式会社 東京都目黒区
<http://www.etanisan.co.jp>

● 株式の状況（平成28年3月31日現在）

発行可能株式総数 22,000,000株
 発行済株式総数 6,266,000株
 自己株式数 1,278株

● 株主の状況

総株主数 5,089名

● 大株主の株式所有状況

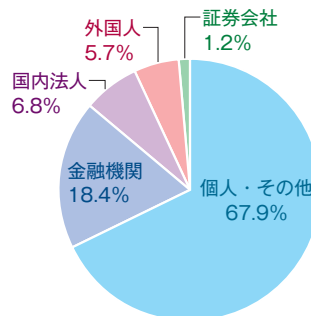
（単位：株）

	持株数	持株比率
佐々木 健二	1,000,530	15.97%
ノルディア バンク デンマーク エーエス クライアーツ	291,900	4.66%
株式会社三井住友銀行	276,000	4.41%
蔵王産業社員持株会	236,580	3.78%
株式会社みずほ銀行	230,000	3.67%
株式会社千葉銀行	230,000	3.67%
東京美装興業株式会社	158,400	2.53%
土方 孝悦	154,400	2.46%
東京海上日動火災保険株式会社	120,000	1.92%
照井 雅夫	89,820	1.43%
合 計	2,787,630	44.50%

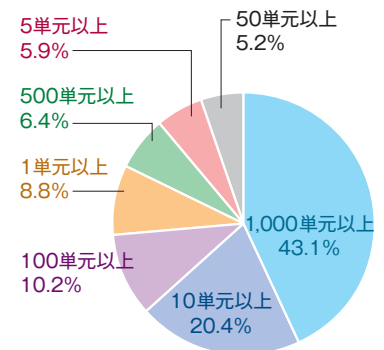
（注）持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株式分布状況

所有者別株式数構成比



所有株数別株主数構成比



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいておりますので、確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

●株主様のご住所・お名前に使用する文字について

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（以下、ほふりという。）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

